

第1号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策計画書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 261-8515  
 住 所 千葉県千葉市美浜区中瀬1-5-1  
 氏 名 まいばすけっと株式会社  
 代表取締役 大池学 印

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第9条第1項（同条第4項において読み替えて準用する場合を含む。）の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	まいばすけっと株式会社		
主たる事務所又は 事業所の所在地	神奈川県川崎市高津区下作延3-24-35		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の業種	大分類	I	卸売業、小売業
	中分類	58	飲食料品小売業
主たる事業 の内容	主として各種食料品、酒類の販売		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量		3,580 k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	まいばすけっと株式会社 建設部
		所在地	神奈川県横浜市神奈川区富家町1-1
		電話番号	0120-080-610
		FAX番号	なし
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計 画 期 間	平成28 年度 ~ 平成30 年度
温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第1号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第1号のとおり
備 考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 計画書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

## 事業活動地球温暖化対策計画

### 1 温室効果ガスの排出の量の削減を図るための基本方針

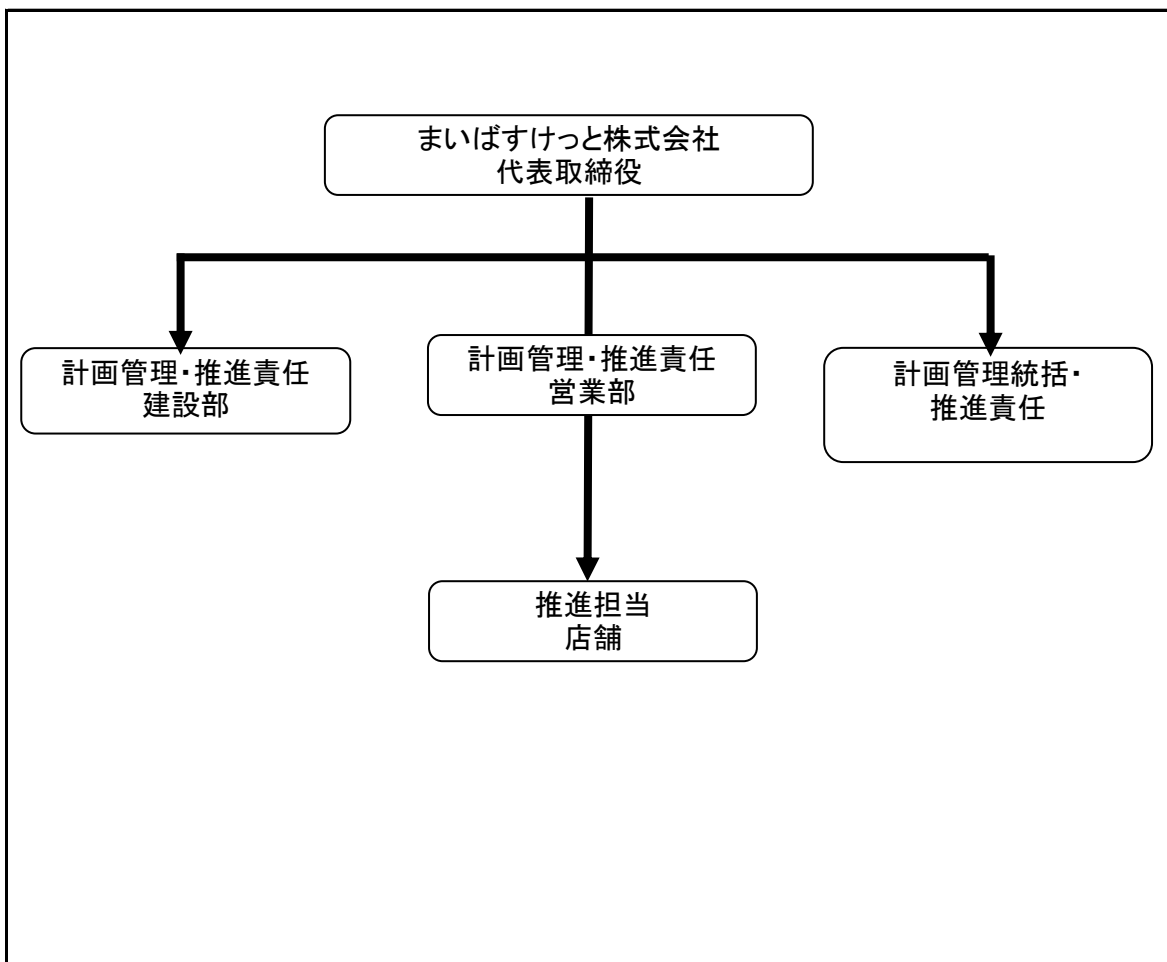
イオングループ全体の「イオン地球温暖化防止宣言」を受け、

①「店舗での設備・仕組みによる削減」  
 ②「商品・物流における削減」  
 ③「お客さまとともに取組む削減」  
 の3つの柱とした取り組みを積極的に推進していく。

①については、2011年12月開店以降の新規店舗についてLED照明を導入し、1㎡あたりのエネルギー使用量を2010年度対比1%以上削減することを目標としている。

②については、ドミナント出店により物流面での効率化を図り、CO<sub>2</sub>の削減の取り組みを行っていく。

### 2 温室効果ガスの排出の量の削減に向けた組織体制



3 温室効果ガスの排出の量の削減目標等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減目標及び温室効果ガスの排出の量

ア 基準排出量と目標排出量

基準年度	平成28	年度	目標年度	平成30	年度
基準排出量	(実) 6,458 (調) 6,343	t-CO <sub>2</sub>	目標排出量	(実) 11,000	t-CO <sub>2</sub>
削減率	(実) -70.3	%	削減量	(実) -4,542	t-CO <sub>2</sub>

イ 基準排出量原単位等と目標排出量原単位等

原単位の活動量	延べ床面積	単位	t-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup>
基準年度の値	0.4837	目標年度の値	0.4789
削減率	1.0	%	
延床面積、生産数量以外の原単位を使用した場合の理由	計画的に出店を進めるに当たり、店舗増による電力使用量は増加するため、単位面積当たりの評価とする。		

ウ 目標設定に関する考え方

当社で認証取得している「ISO14001」の目標として、CO<sub>2</sub>の削減を掲げています。その中でも大きな比重を占める「電気使用量の削減」については、平成25年から平成27年の間で1%の削減を目標として取組を行い、連動性をもたせる値として目標に設定しています。しかしながら、今後も積極的な出店を予定しているため、総排出量は増加(年推定1500 t-CO<sub>2</sub>)してしまうため、面積を基準とした「原単位」を目標としています。具体的な削減手段としては、省エネ効果の高い設備の導入を検討し削減に取り組んでいきます。

(2) 温室効果ガスの排出の量の削減目標 (全社目標)

--

5 温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の内容に係る事項

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の内容

<p>事業所等に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第1号、第2号、第4号該当者等)</p>	<p>①営業前後の売場不要照明の停止、                  冷凍冷蔵庫の適正温度表示・設定                  ショートケースナイトカバーの使用、                  気噴出し・吸い込み口の陳列物整理、                  クヤードのこまめな消灯、                  フィルターの清掃・点検、                  フィルターの清掃・点検、                  率照明ランプの採用(屋内)                  冷凍設備及び空調設備の室外機の清掃</p> <p style="text-align: right;">②                  、③                  ④冷                  ⑤バッ                  ⑥空調                  ⑦換気                  ⑧高効                  ⑨冷蔵</p>
<p>自動車に係る温室効果ガスの排出の量の削減を達成するための具体的措置</p> <p>(第3号該当者等)</p>	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用計画及び前年度末における利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

投資コストも勘案し、今後の検討課題とします。
------------------------

イ 再生可能エネルギー源等の利用計画及び利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考

ウ 再生可能エネルギー源等の価値の保有計画及び保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考

(3) 基準年度の末日までに完了した主な対策内容

--

6 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置に係る事項

実施無し。

7 その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項

- ・食品リサイクルの推進
- ・地域集中出店による物流効率化を図り、配送車のCO<sub>2</sub>排出量を削減する。

8 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	6,458	t-CO <sub>2</sub>
(調)	6,343	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位 (第 1 号、第 2 号該当者等)

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500k1 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
まいばすけっと全店	0			6,458 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 以上 1,500k1 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500k1 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400~500k1 未満	
300~400k1 未満	
200~300k1 未満	
100~200k1 未満	
100k1 未満	

(3) 事業所等单位 (第 4 号該当者等)

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 以上 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量 (二酸化炭素換算) が 3,000 t 未満 (二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。) の事業所の数

事業所数	
------	--